



平成16年10月21日

各 位

会社名 株式会社 七十七銀行  
代表者名 取締役頭取 丸森 仲吾  
(コード番号 8341 東証第一部・札証)  
問合せ先 総合企画部長 西城 正志  
(TEL. 022 - 267 - 1111)

## 平成16年9月中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成16年5月27日の平成15年度決算発表時に公表した平成16年9月中間期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成16年9月中間期業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

##### 【単体】

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	46,000	10,000	6,000
今回修正予想 (B)	47,200	13,100	7,300
増減額 (B - A)	1,200	3,100	1,300
増減率 (%)	2.6	31.0	21.7
(ご参考) 前中間期実績(平成15年9月中間期)	48,077	13,076	6,391

##### 【連結】

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	55,000	10,500	6,000
今回修正予想 (B)	56,500	14,600	7,400
増減額 (B - A)	1,500	4,100	1,400
増減率 (%)	2.7	39.0	23.3
(ご参考) 前中間期実績(平成15年9月中間期)	57,094	14,111	6,530

## 2. 修正の理由

### (1) 単体業績予想の修正理由

経費の圧縮等により、一般貸倒引当金繰入前業務純益が当初見込みを上回ったことに加え、要管理先債権の残高の減少を主因として、一般貸倒引当金が当初見込みを上回る取崩しとなったことから、経常利益、中間純利益とも前回発表予想を上回るものであります。

なお、業務純益が前回発表予想を下回るのは、一般貸倒引当金の取崩額が個別貸倒引当金の繰入額を上回ったため、その差額を貸倒引当金取崩額として特別利益に計上したことによるものです。

【参考】平成16年9月中間期単体業績予想

(単位：億円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)-(A)	平成15年9月期 実績
業務粗利益	418	420	2	429
経費	291	281	10	291
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	127	139	12	137
一般貸倒引当金繰入額	43	-	43	44
業務純益	170	139	31	182
臨時損益	70	8	62	51
うち不良債権処理損失	60	4	56	51
経常利益	100	131	31	130
特別損益	0	4	4	0
うち貸倒引当金取崩額(注1)	-	10	10	-
うち所有不動産償却額(注2)	-	14	14	-
中間純利益	60	73	13	63
与信関係費用 + -	17	5	22	6

注1. 一般貸倒引当金が65億円の取崩、個別貸倒引当金が55億円の繰入となりますので、その差額の10億円を貸倒引当金取崩額として特別利益に計上しております。

注2. 自己査定基準に基づく所有不動産の償却額を、特別損失に計上しております。

### (2) 連結業績予想の修正理由

主に単体の業績予想の修正によるものであります。

## 3. 平成17年3月期通期業績予想(単体・連結)

通期の業績予想につきましては、11月に予定しております中間決算発表時にお知らせいたします。

以上